

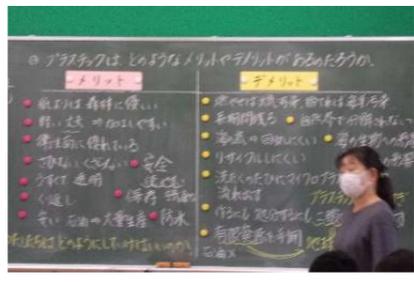
研究授業 6年 サイエンスコミュニケーション科

「プラスチックと私たちの未来」

令和2年12月16日(水)

6年1組 廣瀬主幹教諭 4校時 5/7

6年2組 森田教諭 5校時 6/7



プラスチックにはどのようなメリットやデメリットがあるのだろうか 5/7時間

自分たちができるプラスチックを減らすアイデアを考えよう 6/7時間

軽いし、丈夫だし、便利だけれど...



自然分解しないことが困るなあ



自然事象との対話

ペットボトルを使わない生活ってできるのかな



石油がなくなったら、プラスチックも生産されなくなるなあ



プラスチック製品を生産する時もCO2を排出しているね



コロナで分散登校の時の給食では、使い捨てプラスチック容器で、衛生を考えていたね



児童相互の対話

それは、3Rや5Rに 関係があるね



6つの視点のうち、持続性はクリアできるアイデアだね



プラスチックは、私たち人間には便利なものですが、地球環境全体のことを考えれば、可能な限り利用を減らしていく必要があると思います。

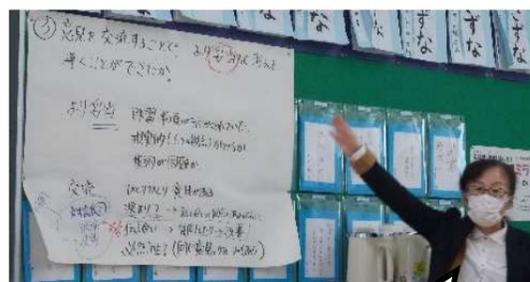
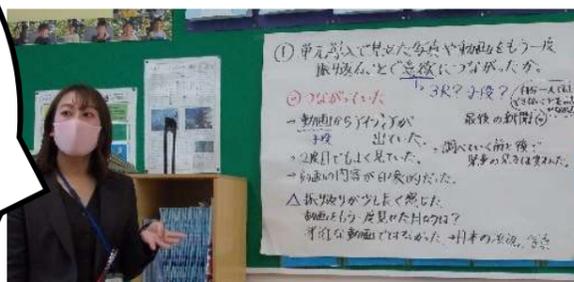


学級全体での対話

プラスチック問題を解決するには、できるだけたくさんの人に協力してもらわないと効果が薄いので、私たちが、呼び掛ける必要があると思います。



単元導入で見た写真や動画でもう一度振り返る時間は、本時の意欲につながっていた。

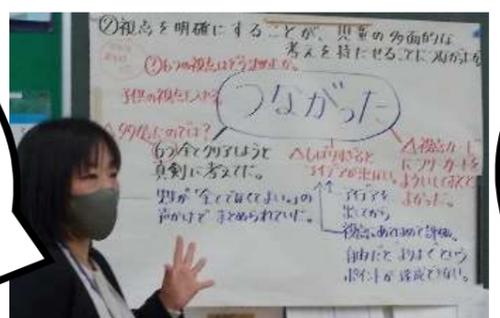


研究協議会

講師：文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
鳴川 哲也 先生



6つの視点を明確にすることで児童に多面的な考えをもたせることにつながっていた。児童の考えた視点のためにフリーカードも活用したい。



自分の意見をもって友達に説明し、質問を受けそれに応えながら、さらに意見を改善していく。6年生としての対話2を充実させていきたい。